

ソメイヨシノ

【 区画⑨(45), 区画⑱(101, 108), 区画⑳(180) 】

がくめい 学名	<i>Cerasus × yedoensis</i> (Matsum.) Masam et S.Suzuki	ぶんるい 分類	バラ科サクラ属
ぶんぷ 分布	日本全国の庭園土手等に栽植	じゅこう 樹高	10~15m程度の落葉高木

〈 特徴等 〉

なまえ ゆらい 名前の由来	江戸時代に東京の染井村で「吉野桜」の名で売り出されたことが名前の由来である。		
は 葉の特徴	① 常緑 ・ 落葉	② 広葉 ・ 針葉	
	③ 対生 ・ 互生	④ 単葉 ・ 複葉	⑤ 鋸歯縁 ・ 全縁
かいかとう 開花等	4月初めに新葉より先に密集した淡紅白色(薄いピンク)の数個の花を咲かせる。		
けつじつとう 結実等	5~6月に直径7~8mmの紫黒色(紫がかった黒色)で多汁の丸い果実をつける。		
ほか その他	本種がサクラの中で最も多く植えられている栽培品種である。 エドヒガン(もしくはウバヒガン)とオオシマザクラの雑種であると言われている。		

〈 写真 〉

		
じゅもく 樹木 (4/3)	じゅひ 樹皮 (5/12)	は 葉の付き方 (5/12)
		
は 葉 (6/12)	はな 花 (4/2)	かじつ 果実(実) (5/12)

〈 参考文献 〉 牧野富太郎 (2017) 『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p. 596.
林 将之 (2018) 『葉で見わける樹木 増補改訂版』小学館, p. 60.